

Ⅲ外来

診療科 又は 診療部門	小児・小児外科、透析内科、がん化学療法科、化学療法室	
看護師数	看護師長1名、副看護師長3名、看護師21名（がん化学療法看護認定看護師2名、感染管理認定看護師1名含む）	
主な疾患	小児科 小児外科	血液腫瘍疾患、循環器、感染症、未熟児・新生児疾患、子どものこころの病気、てんかん、内分泌・代謝疾患、アレルギー、血友病、急性白血病、血小板減少症、小児がん（神経芽腫・骨肉腫 等）
	透析内科	急性・慢性腎不全、自己免疫疾患、肝不全、神経・筋疾患、潰瘍性大腸炎、クローン病
	がん化学療法科	原発不明がん、脳腫瘍、膵臓がん
主な 治療・検査	小児科 小児外科	内分泌負荷試験、アレルギー負荷試験、ODテスト、血友病包括外来・教育外来、骨髄穿刺、輸血、脳波（薬物・自然）
	透析内科	血液透析、血液ろ過透析、血漿交換療法、顆粒球・白血球吸着療法、免疫吸着療法、LDL吸着療法
看護の特徴	小児科 小児外科	子どもたちが安心して治療や検査を受けることができるよう、年齢・疾患等に応じた看護を実践しております。
	透析内科	13床の透析ベッドがあり、令和3年は年間約2800件の血液浄化療法を行っております。医師、臨床工学技士、看護師が連携し安全な治療を目指し、より良い透析生活を送れるよう支援しております。
	がん化学療法科	病名告知の際の同席や、患者・ご家族の精神的なサポートに努めております。
	化学療法室	30床のベッド・リクライニングチェアがあり、年間12000件の化学療法を行っております。抗がん薬治療を受ける患者やそのご家族が笑顔ある日常生活が送れるよう支援しております。
		